

令和元年東日本台風では、全国各地で甚大な被害が発生したことを踏まえ、鴨川水系においても、事前防災対策を進める必要があり、以下の取組みを実施していくことで、甚大な被害を生じさせた平成10年7月洪水と同規模の洪水による浸水被害の解消を図る。



※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

- 鴨川では、県、市が一体となって以下の手順の「流域治水」を推進する。
 - 【短期】魚津市街地での冠水、浸水被害を未然に防ぐため下水道の雨水幹線整備を実施する。
 - 【中期】流下能力不足解消のため、鴨川放水路の整備を実施する。
 - 【中長期】放水路と雨水幹線の連携を図り、より円滑な雨水の流下を促す。
- あわせて越水、溢水の頻発箇所へは、必要に応じて、水位計や監視カメラを設置し、WEB上への配信追加・周知などを行うことにより、避難判断に役立てる。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	鴨川放水路の整備	富山県	[Red arrow spanning Short, Mid, and Long-term]		
	下水道の雨水幹線の整備	魚津市	[Red arrow spanning Short and Mid-term]		
被害対象を減少させるための対策	立地適正化計画に基づく「安全なまちづくり」に向けた取組（防災指針策定など）	魚津市	[Yellow arrow spanning Short, Mid, and Long-term]		
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	災害リスクの現地表示、洪水ハザードマップの周知、浸水実績の周知	富山県 魚津市	[Green arrow spanning Short, Mid, and Long-term]		
	水位計・監視カメラの活用	富山県	[Green arrow spanning Short, Mid, and Long-term]		

【事業費（R4年度以降の残事業費）】

- 河川対策
 - 全体事業費 17.5億円※
 - 鴨川放水路の整備 等
- 下水道対策
 - 下水道の雨水幹線の整備

※県の河川整備計画の残事業費を記載

暫定供用中、排水状況によっては放水路と雨水幹線を接続し、より円滑な雨水の流下を促す

立地適正化計画への防災指針の記載と取組など

必要に応じて、越水、溢水の頻発箇所への設置やWEB上への配信追加・周知など

気候変動を踏まえたさらなる対策を推進